

教科名	区分	実施時期	時間数
生産工学概論	基礎学科	4月～7月	23
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>資源材料から社会に役立つ製品までの生産工程の知識を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>材料の仕入れ、生産計画、品質管理、物流管理、消費者までの管理業務について学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産と工場</li> <li>2. 生産の合理化</li> <li>3. 生産活動の分析</li> <li>4. 計画統制</li> <li>5. 作業の改善と標準化</li> <li>6. 品質管理</li> <li>7. 運搬管理</li> <li>8. 原価計算</li> <li>9. 設備の保全</li> <li>10. 環境マネジメント</li> </ol>			
教科書・参考書	生産工学概論（雇用問題研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
材料	基礎学科	4月～7月	45
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>木材の性質及び木質材料・複合化材料についての基礎知識を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>木材と木材を利用して開発された木質材料・複合化材料の種類や性質を理解し製品製作に有効活用していけるようにする。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 木材の構造</li> <li>2. 木取り法</li> <li>3. 乾燥法</li> <li>4. 木取り法</li> <li>5. 木質材料</li> <li>6. 金属材料</li> <li>7. その他材料</li> </ol>			
教科書・参考書	木工材料（雇用問題研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
木材加工用機械	基礎学科	5月～7月	45
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>労働災害防止の観点から、木材加工用機械の構造・機能・保守点検・作業方法等を理解する。</p> <p>《概要》</p> <p>木材加工用機械による作業は危険が多く、労働災害がなかなか減少していない。安全作業のために、木工機械について知識を学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機械要素</li> <li>2. 機構と運動</li> <li>3. モータ</li> <li>4. 機械一般</li> <li>5. 機械工作法</li> <li>6. 電気機器および電動装置</li> </ol>			
教科書・参考書	木工用機械（雇用問題研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
製図	基礎学科	4月～8月	34
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>図面要素（線の種類、用途、記号など）を理解し、木工図面が読め、実技課題図面が描ける。</p> <p>《概要》</p> <p>線の種類・用途、記号や約束事に関する知識を習得し、製作課題を図面にあらわせるようにする。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 製図一般事項</li> <li>2. 用器画法</li> <li>3. 製図通則</li> <li>4. CAD</li> </ol>			
教科書・参考書	木工製図（職業訓練教材研究会） 自作工作基本課題図面		
使用機器	製図用具一式		
成績評価の方法	記述等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
木材加工法	基礎学科	5月～7月	56
<b>《ねらい・到達目標》</b> 木材の加工技術を習得する。			
<b>《概要》</b> 木工用具の使い方について学ぶ。			
<b>授 業 内 容</b>			
1. 工作用器工具 2. 緊結および接着法 3. 加工工作			
<b>教科書・参考書</b>	木工工作法（職業訓練教材研究会）		
<b>使用機器</b>			
<b>成績評価の方法</b>	記述による試験		
<b>備 考</b>			

教科名	区分	実施時期	時間数
安全衛生	基礎学科	4月～3月	23
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>労働災害に対する認識を深め、災害防止に対し、自らの安全と健康を守る態度を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>安全作業、衛生業務の考え方について学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全衛生管理</li> <li>2. 安全衛生関係法規</li> <li>3. 安全作業法</li> </ol>			
教科書・参考書	木工用機械（雇用問題研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
器工具使用法	基礎実技	4月～9月	56
<p>《ねらい・到達目標》 器工具の用途を理解し、取り扱い・保守が正しくできる。</p> <p>《概要》 木工製品を製作するために必要な各種器工具の用途、使用方法、手入れ方法を習得する。</p>			
授業内容			
<p>1. 各種器工具の使用方法及び調整法</p> <p>(1) のこぎり</p> <p>(2) かんな</p> <p>(3) のみ</p> <p>(4) け引き</p> <p>(5) スコヤ等</p>			
教科書・参考書	木材加工系実技教科書（雇用問題研究会） 木工工作法（職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
機械操作基本実習	基礎実技	5月～8月	100
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>木材加工用機械の構造機能を理解し、保守・点検・操作方法を習得し、安全に作業ができる。</p> <p>《概要》</p> <p>木工機械は、生産現場において、なくてはならないものである。木工機械を安全に取り扱うための操作方法を習得することで作業の安全が確保できる。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種木工機械の取扱い及び機械加工</li> <li>2. 機械刃物の研削および調整</li> <li>3. 精度検査</li> <li>4. 携帯電動工具の取り扱いおよび加工</li> </ol>			
教科書・参考書	木工工作法（職業訓練教材研究会） 木工用機械（雇用問題研究会）		
使用機器	木材加工用機械機器一式		
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			



教科名	区分	実施時期	時間数
工作基本実習	基礎実技	5月～9月	89
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>墨付け具を正しく使用でき、各種継ぎ手工作ができる。</p> <p>《概要》</p> <p>木工製品は、様々な寸法の部材を組み合わせてできあがっている。各部材は、墨付け作業の後、所定の寸法に切断し、刻み、削り、穴を開けるなどの加工を施す。各部位それぞれを組み合わせるための継ぎ手の種類・加工法を習得する。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 墨付け作業</li> <li>2. 各種接合及び継ぎ手工作作業</li> </ol>			
教科書・参考書	木材加工系実技教科書（雇用問題研究会） 自作基本工作課題図面		
使用機器	手工具、木材加工用機械		
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
塗装基本実習	基礎実技	12月	34
<p>《ねらい・到達目標》 塗装用材料、工具などを用いて木工塗装ができる。</p> <p>《概要》 各種塗料の使い方と刷毛、スプレーガンの使用法を修得する。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 塗装用器工具使用法</li> <li>2. スプレーガンによる塗装</li> <li>3. 塗装用機械設備使用法</li> </ol>			
教科書・参考書	塗装実技教科書（能力開発センター）		
使用機器	塗装用具一式		
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
安全衛生作業法	基礎実技	4月～3月	23
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>さまざまな作業において、常に安全意識をもち、適宜その作業にあった点検調整が行える。危険の予測ができ、機械・器工具の整理整頓をし、安全な環境で作業ができる。</p> <p>《概要》</p> <p>安全意識を高め、心身の健康への配慮を怠らないことが、作業環境を良好に保ち、安全第一へつながる。</p>			
授業内容			
<p>1. 安全意識の高揚  (1) 避難訓練</p> <p>2. 安全衛生作業  (1) 作業環境整備  (2) 手工具・機械装置の安全な取扱方法</p>			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
木製品	専攻学科	4月～7月	34
<b>《ねらい・到達目標》</b> 木工製品の種類及び規格等の知識を習得する。			
<b>《概要》</b> 木工品の種類形態規格等を学ぶ。			
<b>授 業 内 容</b>			
1. 木工品の種類・名称 2. 木工品の形態・構造 3. 木工品の規格			
教科書・参考書	木工製品設計（雇用問題研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
工作法	専攻学科	4月～7月	56
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>各種器工具・接合法・装飾加工等の種類についての知識を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>木工製品製作に必要なさまざまな器工具、各種接合法、装飾の種類についての知識を学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加飾工作法</li> <li>2. 木質材料</li> <li>3. 合成樹脂板</li> <li>4. ガラス</li> <li>5. 金属</li> <li>6. 曲げ木</li> </ol>			
教科書・参考書	木工工作法（職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
塗装法	専攻学科	12月	23
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>木工製品塗装に関する塗装機器、塗料の種類、塗装工程、塗装法などの知識を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>木工製品塗装の目的及び塗料の種類、塗装計画等の知識を学ぶ。</p>			
7月			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 塗装用機器</li> <li>2. 素地調整</li> <li>3. 塗料の調整</li> <li>4. 塗装作業法</li> </ol>			
教科書・参考書	木工塗装法（能力開発センター）		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
仕様及び積算	専攻学科	7月～9月	12
<p>《ねらい・到達目標》 仕様書の作成要領が分かり、原価・見積りのことがわかる。</p> <p>《概要》 製品を生産するために、材料・規格・数量・工作法など約束事を示したものが必要となる。 また、生産にかかる諸費用を算出して集計し、予算額を算出する費用がある。これら仕様積算について学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>仕様書</li> <li>仕様書の作成</li> <li>積算</li> <li>見積り</li> </ol>			
教科書・参考書	木工製品設計（雇用問題研究会） 自作課題図面		
使用機器			
成績評価の方法	記述による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
設計実習	専攻実技	8月～10月	56
<p>《ねらい・到達目標》 木工製品の成り立ちを理解して、図面を描くことができる。</p> <p>《概要》 各種の条件を考慮して、木工製品を設計する。</p>			
授業内容			
<p>1. デザイン 2. 設計 3. プレゼンテーション</p>			
教科書・参考書	木工製図（職業訓練教材研究会） 自作製作計画、設計図		
使用機器			
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			



教科名	区分	実施時期	時間数
乾燥実習	専攻実技	6月	12
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>木材の腐れ、虫害、乾燥による狂いを理解し、さん積み法による天然乾燥のができる。</p> <p>《概要》</p> <p>伐採後の木材が、乾燥していく過程で割れたり狂ったりするが、乾燥された木材は接着性が良くなる、強度が大きくなるなど利点がある。木材乾燥は、品質の良い製品を作る上で必要であるので、木材乾燥に関する方法、乾燥時に発生する問題点などを学ぶ。</p>			
授業内容			
<p>1. さん積み</p> <p>2. 乾燥実習</p>			
教科書・参考書	木工材料（雇用問題研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
塗装実習	専攻実技	1月	34
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>スプレーガン操作技術を習得する。 各種塗料の使用方法を理解する。</p> <p>《概要》</p> <p>木工塗装の各種工程に従って木工製品を仕上げる。</p>			
授業内容			
<p>1. 木工塗装実習 2. 工芸塗装</p>			
教科書・参考書	塗装実技教科書（能力開発研究センター）		
使用機器	塗装用具一式		
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
組立及び仕上げ実習	専攻実技	6月～9月	56
<p>《ねらい・到達目標》 各加工部材を組立、調整・仕上げができる。</p> <p>《概要》 家具を構成する部材を加工し、組立て、調整・仕上げの基礎的な方法を習得する。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種仕口の総合組み合わせおよび素地調整作業</li> <li>2. 組立て補助具による工作</li> </ol>			
教科書・参考書	木材加工系実技教科書（雇用問題研究会） 自作課題図面		
使用機器			
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
木製品製作実習	専攻実技	8月～3月	705
<p>《ねらい・到達目標》 材料を木取り、墨付け、加工、接着、組立の基本的な作業ができる。</p> <p>《概要》 収納家具の基本構造を学び、板組・かまち組・フラッシュ構造の家具をつくるため材料木取り作業、墨付け、部材加工方法を習得する。</p>			
授業内容			
各種木製品の製作			
教科書・参考書	木材加工系実技教科書（雇用問題研究会） 自作課題図面		
使用機器			
成績評価の方法	課題製作等による試験		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
社会	その他の学科	4月～3月	40
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>各行事に参加し、社会人として規律ある行動がとれる。また自己の適性と能力に応じた職業を自主的に選択できる。</p> <p>《概要》</p> <p>式典、研修へ参加する。求人企業の紹介、面接試験対策などを実施、一人一人の志望と適正に応じた指導、助言を行う。</p>			
授業内容			
<p>1 行事</p> <p>(1) オリエンテーション</p> <p>(2) 各種講話</p> <p>2 就職指導</p> <p>(1) 職業理解</p> <p>(2) 就職計画</p> <p>(3) ジョブカード製作</p>			
教科書・参考書	配布資料		
使用機器			
成績評価の方法	受講割合		